

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年12月10日 |
| 【会社名】 | 大塚ホールディングス株式会社 |
| 【英訳名】 | Otsuka Holdings Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 樋口 達夫 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区神田司町二丁目9番地 (同所は登記上の所在地であり、実際の業務は下記の最寄りの連絡場所で行っております。) |
| 【電話番号】 | 03 - 6717 - 1410 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経営財務会計部次長 近藤 直人 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー12階 |
| 【電話番号】 | 03 - 6717 - 1410 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経営財務会計部次長 近藤 直人 |
| 【縦覧に供する場所】 | 大塚ホールディングス株式会社 東京本部 (東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー12階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

1【提出理由】

当社は、2014年11月13日開催の取締役会において、連結子会社である大塚アメリカ インク（本社：米国カリフォルニア州、大塚製薬株式会社の完全子会社、以下「大塚アメリカ」）の完全子会社を通じて、現金による株式公開買付け（以下、「本公開買付け」）及びそれに続く現金を対価とする合併（以下「本買収」）を実施することにより、Avanir Pharmaceuticals, Inc.（以下「アバニア社」）を買収することを決議し、2014年12月2日（日本時間）付でアバニア社と合意したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社に関する子会社取得を決定した機関

2014年11月13日の当社取締役会において子会社取得を決議しています。また、アバニア社は2014年12月1日（米国西海岸時間）開催の同社取締役会において、本公開買付けに賛同する旨を決議しています。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得を行う連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

名称 ビガラード コーポレーション (Bigarade Corporation)
 住所（連絡先） One Embarcadero Center, Suite 2020, San Francisco, CA 94111, USA
 代表者の氏名 代表取締役社長 野間 裕隆

本買収のため、当社は、大塚アメリカの完全子会社として、買収子会社ビガラード コーポレーションを設立しました。本公開買付け終了後、ビガラード コーポレーションはアバニア社に吸収合併され、アバニア社は当社の連結子会社となる予定です。

(3) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 Avanir Pharmaceuticals, Inc.
 本店の所在地 30 Enterprise, Suite 400 Aliso Viejo, CA 92656, USA
 代表者の氏名 CEO兼社長 キース A. カトキン
 資本金の額 19,366米ドル（2014年9月30日時点）
 純資産の額（連結） 18,471千米ドル（2013年9月30日時点）
 総資産の額（連結） 76,079千米ドル（2013年9月30日時点）
 事業の内容 医薬品の研究開発、製造及び販売

(4) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益（連結）

（単位：千米ドル）

| | 2011年9月期 | 2012年9月期 | 2013年9月期 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 10,495 | 41,275 | 75,365 |
| 営業利益（損失） | (60,629) | (58,402) | (71,426) |
| 当期純利益（損失） | (60,631) | (59,743) | (75,475) |

（注） 取得対象子会社は米国会計基準で連結財務諸表を作成しており、「経常利益」に相当する項目がないため、記載していません。

(5) 取得対象子会社の当社及び連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
 人的関係 当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
 取引関係 当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

(6) 取得対象子会社に関する当社連結子会社の子会社取得の目的

アバニア社は、1988年に南カリフォルニアに設立された、従業員数約500名のバイオベンチャー企業です。同社は中枢神経疾患領域に集中しており、世界初で唯一の情動調節障害（PBA）治療薬である「ニューデクスタ（NUDEXTA[®]、臭化水素酸デキストロメトルファン / 硫酸キニジン）20mg/10mgカプセル」を開発し2011年2月に米国で発売しました。「ニューデクスタ」は発売以来順調に売り上げを伸ばしており、直近1年間の売上は94百万米ドル（2013年7月～2014年6月）を達成（対前年度同期比上昇率50%）しています。アバニア社は「ニューデクスタ」の売上の成長を加速するために新たに150名のMRを採用し300名以上の営業体制にしています。また同社は、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、片頭痛やその他の中枢神経系の分野の開発を行っています。アルツハイマー型認知症に伴う行動障害^{*}の適応をターゲットとし、大型化が期待される新規開発化合物AVP-786の開発に取り組んでおり、現在そのフェーズ3臨床試験の準備を進めています。

* アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション

本買収により、神経疾患の情動調節障害（PBA：Pseudobulbar affect）という未開拓な市場の中で創造した治療薬「ニューデクスタ」、アルツハイマー型認知症に伴う行動障害の治療を目的とした後期開発品「AVP-786」、大塚製薬が強みとする「精神疾患領域」に対し、アバニア社の持つ「神経疾患領域」の臨床開発力及び市場開拓力、の3つの新たな価値が大塚製薬に加わります。これにより、大塚製薬の神経疾患領域の拡大戦略が加速顕在化され、精神疾患領域だけでなく、神経疾患領域も含む中枢領域全体に広がります。その結果、短期だけでなく中長期のより力強い成長が期待できます。

本買収は、経営理念・人材・製品 / 技術が大塚グループと共有でき、かつ価値を創造できる長期的視野に立った投資を行うという、大塚グループの投資の基本方針に則り、実証と創造の理念に基づいています。

(7) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

約3,539百万米ドル

（注）アバニア社発行済株式総数（完全希薄化後ベース）に1株当たり買付け価格（1株当たり17.00米ドル）を乗じた金額を記載しています。

(8) アバニア社株式取得の方法及び日程

公開買付け実施者

ビガラード コーポレーション（Bigarade Corporation）

本買収のため、当社は、大塚アメリカの完全子会社として、買収子会社ビガラード コーポレーションを設立しました。本公開買付け終了後、ビガラード コーポレーションはアバニア社に吸収合併され、アバニア社は当社の連結子会社となる予定です。

公開買付けの対象会社

アバニア社（Avanir Pharmaceuticals, Inc.）

買付けを行う株式の種類

普通株式

買付け価格

1株当たり17.00米ドル

買付けに要する資金

約3,539百万米ドル

（注）アバニア社発行済株式総数（完全希薄化後ベース）に1株当たり買付け価格を乗じた金額を記載しています。

買付け期間

最初の買付け期間は、本件にかかるアバニア社との最終合意の日（日本時間2014年12月2日）から10営業日以内に開始され、開始後20営業日で終了します。

なお、買付け条件が充足されない場合は、買付け期間の延長を実施する可能性があります。2015年9月2日を越えて期間延長を義務付けられることはありません。

下限応募株式数

ビガラード コーポレーションは、アバニア社の発行済株式総数の50%超の応募があった場合に買付けを行います。

(9) 本公開買付けによる当社保有のアバニア社株式数の異動

本公開買付け前保有株式割合 0%

本公開買付け後保有株式割合 100%

(注) 本公開買付けにより、アバニア社株式の100%を買い付けることができた場合

注意事項

本臨時報告書に記載されているアバニア社の株式の本公開買付けはまだ開始されていません。本臨時報告書は、証券の買付けの応募、又は売付けの募集を勧誘するものではありません。アバニア社の株式の本公開買付けは、大塚製薬の間接子会社であるピガラード コーポレーションが米国証券取引委員会（以下「SEC」）に届け出るSchedule T0による公開買付け説明書（買付け提案、送達状、その他の関連公開買付け文書を含む。）に従って実施されます。アバニア社は、本公開買付けに関してSchedule 14D-9による意見表明書を届け出ます。公開買付け届出書及び意見表明書は、本公開買付けに関する判断をする前に、注意深く熟読し、考慮すべき重要な情報が含まれています。これらの公開買付け届出書及び意見表明書は、アバニア社の株主に無料で送付されます。投資家及びアバニア社の株主は、ピガラード コーポレーションがSECに届け出る公開買付け届出書及びこれらの資料及びその他の文書を（入手可能となった以降）、SECのウェブサイトwww.sec.govから入手することができます。

将来見通しに関する注意事項

将来の売上及び業績に関する見通しなど、本臨時報告書に含まれる記載には、将来予測情報（forward-looking statements）が含まれています。本臨時報告書に含まれる将来予測情報には、本取引により生じる利益の予測、本取引に関係する申請と承認の時期に係る予測、本取引の完了の時期に関する予定、なお、これらの状況に対する仮定に関する表現が含まれています。「期待する」、「見込みである」、「信じる」、「計画する」、「予定である」、「見通しである」、「計画である」、「予測する」、「展望する」などの語句及びこれらと同様の表現は、かかる将来予測情報を示すものです。このお知らせにおける記載は、既知または未知のリスク、不確実性、ならびに実際の結果、収益、業績または達成度を、かかる将来予測情報により明示または暗示された将来の結果、収益、業績または達成度から大きく乖離させるその他の要素を含んでいます。かかる要素には、一般的な業界及び市場の状況、金利及び通貨為替変動などの一般的な国内及び国際的な経済条件、競合他社が取得する技術的優位性及び特許、新製品開発・臨床試験における固有の困難性、製品の安全性及び効果に関するクレームや懸念、規制上の許認可の取得、国内外の保健医療改革、国内外の事業に影響を与える法規制、市場の受容・第三者の同意の獲得失敗などが含まれます。予測と違う結果をもたらすであろうリスクや不確実性には、公開買付け・合併のタイミングに関する不確実性、公開株式に応じるアバニア社の株主数の不確実性、競合の買付けが行われるリスク、規制機関による本取引開始の禁止、遅延、承認拒否を含む契約条件の不成立または不履行の発生の可能性などが含まれています。当社は、今後生じる事象や状況を反映しまたは予測され若しくはされていなかった事象の発生を反映して将来予測情報を更新または訂正する義務を負わず、かかる義務を明確に否定します。

以 上